北九州商工会議所　経営動向調査結果（令和５年度第１四半期）

主要３項目すべて改善

重いコスト増　価格転嫁徐々に

＜調査機関＞　北九州商工会議所
＜調査期間＞　令和５年５月29日～６月23日
〔参考〕調査開始日（5/29）の株価及び外国為替市況
日経平均株価終値31,233円54銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値140円44銭
＜回 答 数＞　484社（製造業113社・非製造業371社）
＜調査方法＞　郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式

本件に関するお問い合わせは、

北九州商工会議所　産業振興課（TEL:541-0185）

＜ 概 況 ＞

◆【主要３項目（業況判断・売上高・経常利益）】

主要３項目すべて改善
次期は主要３項目すべて今期並みを予測

◆【業種別】

製造業、小売業は主要３項目すべて改善。卸売業はすべて悪化
次期はサービス業が主要３項目すべて改善を予測。建設業はすべて悪化を予測

◆【規模別】

中規模企業は主要３項目すべて改善
次期は「売上高」と「経常利益」で大規模企業が改善を予測

※DI（景気動向指数：Diffusion Index）とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向（増加・上昇・改善）の回答割合からマイナス傾向（減少・下降・悪化）の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。
（注）▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

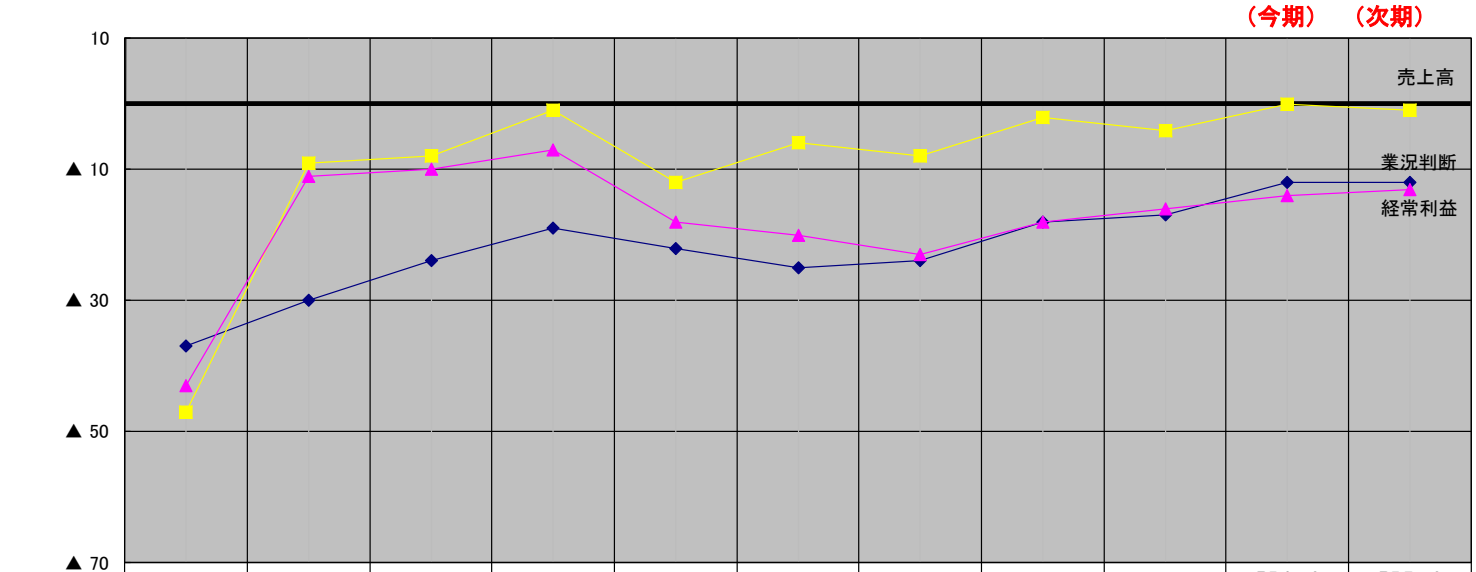
主要3項目（業況判断・売上高・経常利益）DIの動向

＜今期実績＞（4－6 月期）

・主要3項目すべて改善

＜次期予測＞（7－9 月期）

・主要 3 項目すべて今期並みを予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3	R5.4～6（実績）	R5.7～9（予測）
業況判断	▲ 37	▲ 30	▲ 24	▲ 19	▲ 22	▲ 25	▲ 24	▲ 18	▲ 17	▲ 12	▲ 12
売上高	▲ 47	▲ 9	▲ 8	▲ 1	▲ 12	▲ 6	▲ 8	▲ 2	▲ 4	0	▲ 1
経常利益	▲ 43	▲ 11	▲ 10	▲ 7	▲ 18	▲ 20	▲ 23	▲ 18	▲ 16	▲ 14	▲ 13

	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
業況判断	▲15	▲12
売上高	▲3	0
経常利益	▲21	▲14

― 業 種 別 ―

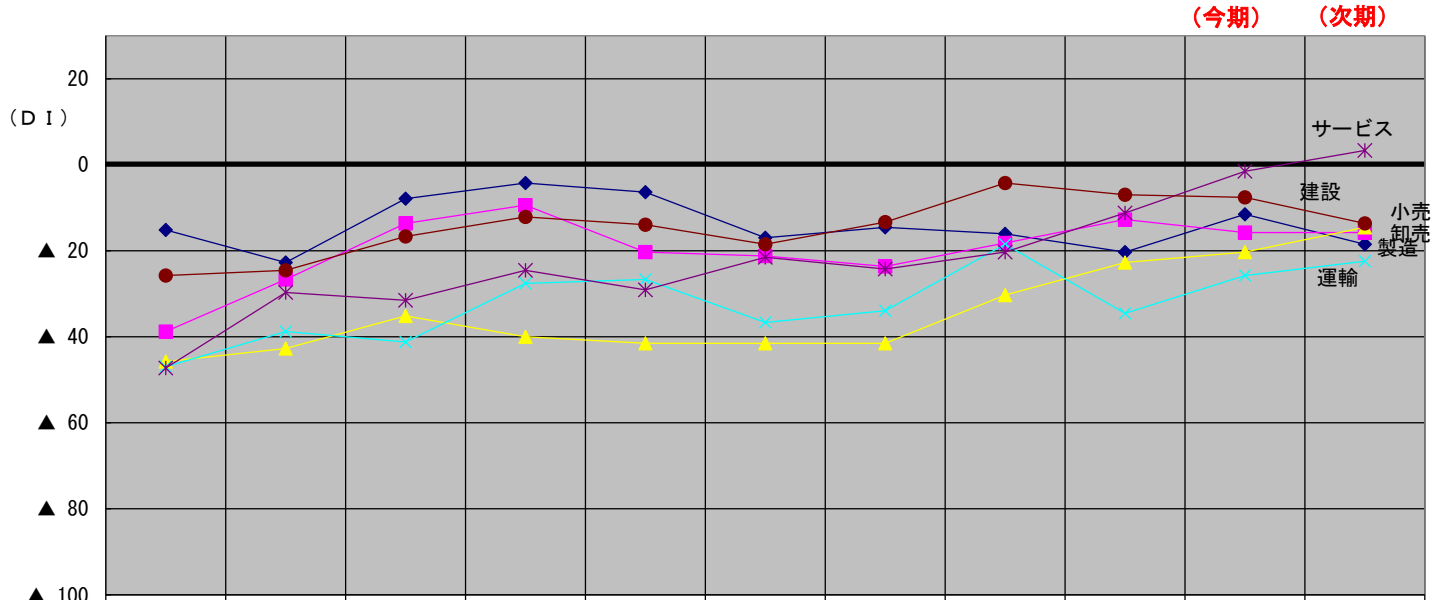
業況判断DI

＜今期実績＞（4－6 月期）

・卸売業と建設業以外は改善

＜次期予測＞（7－9 月期）

・小売業と運輸業、サービス業が改善を予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3	4～6（実績）	7～9（予測）
製造	▲ 15.2	▲ 22.9	▲ 8.1	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 16.9	▲ 14.7	▲ 16.0	▲ 20.5	▲ 11.5	▲ 18.6
卸売	▲ 38.9	▲ 26.8	▲ 13.6	▲ 9.4	▲ 20.4	▲ 21.2	▲ 23.6	▲ 18.4	▲ 12.8	▲ 15.7	▲ 15.7
小売	▲ 45.8	▲ 42.7	▲ 35.3	▲ 40.0	▲ 41.5	▲ 41.6	▲ 41.7	▲ 30.4	▲ 22.9	▲ 20.3	▲ 14.5
運輸	▲ 46.9	▲ 38.9	▲ 41.2	▲ 27.7	▲ 26.7	▲ 36.8	▲ 33.9	▲ 18.6	▲ 34.5	▲ 25.9	▲ 22.4
サービス	▲ 47.2	▲ 29.7	▲ 31.7	▲ 24.5	▲ 29.2	▲ 21.5	▲ 24.3	▲ 20.5	▲ 11.2	▲ 1.6	3.1
建設	▲ 25.7	▲ 24.6	▲ 16.7	▲ 12.2	▲ 13.9	▲ 18.7	▲ 13.5	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 7.6	▲ 13.6

	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
製造	▲15.2	▲11.5
卸売	▲19.1	▲15.7
小売	▲24.3	▲20.3
運輸	▲21.8	▲25.9
サービス	▲6.0	▲1.6
建設	▲14.3	▲7.6

売上高DI

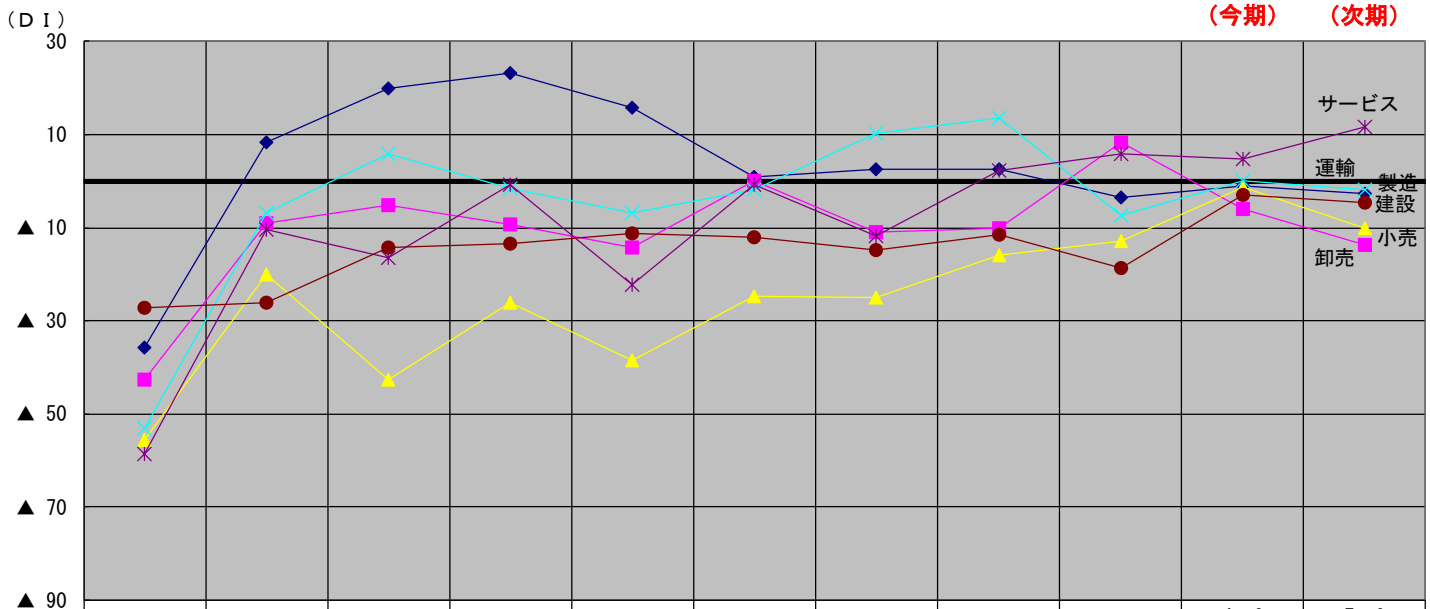
＜今期実績＞（4－6 月期）

・製造業、小売業、運輸業、建設業が改善

・卸売業は 10 ポイント以上悪化し、再びマイナス水準

＜次期予測＞（7－9 月期）

・サービス業のみ改善を予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3	4～6（実績）	7～9（予測）
製造	▲ 35.7	8.3	19.8	23.3	15.9	0.8	2.6	2.5	▲ 3.6	▲ 0.9	▲ 2.7
卸売	▲ 42.6	▲ 8.9	▲ 5.1	▲ 9.4	▲ 14.3	0.0	▲ 10.9	▲ 10.2	8.5	▲ 5.9	▲ 13.7
小売	▲ 55.6	▲ 20.0	▲ 42.6	▲ 26.2	▲ 38.5	▲ 24.7	▲ 25.0	▲ 15.9	▲ 12.9	▲ 1.4	▲ 10.1
運輸	▲ 53.1	▲ 6.9	5.9	▲ 1.5	▲ 6.7	▲ 1.8	10.2	13.6	▲ 7.3	0.0	▲ 1.7
サービス	▲ 58.5	▲ 10.3	▲ 16.5	▲ 0.7	▲ 22.3	▲ 0.7	▲ 11.8	2.4	6.0	4.7	11.8
建設	▲ 27.1	▲ 26.1	▲ 14.1	▲ 13.5	▲ 11.1	▲ 12.0	▲ 14.9	▲ 11.4	▲ 18.6	▲ 3.0	▲ 4.5

	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
製造	2.7	▲0.9
卸売	▲12.8	▲5.9
小売	▲18.6	▲1.4
運輸	▲1.8	0.0
サービス	10.3	4.7
建設	▲11.4	▲4.5

経常利益DI

＜今期実績＞（4－6 月期）

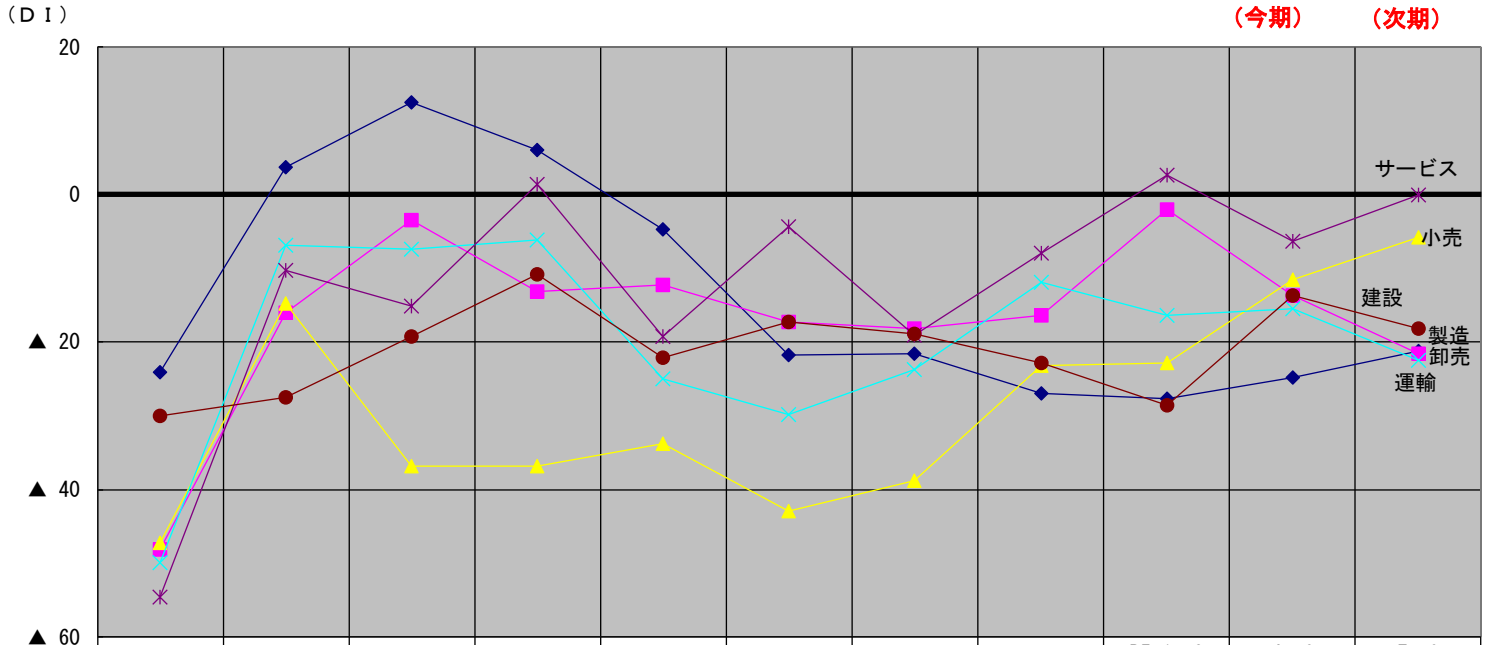
・製造業と小売業、建設業が改善

・小売業と建設業は 10 ポイント以上改善するも、卸売業は 11.6 ポイント悪化

＜次期予測＞（7－9 月期）

・製造業と小売業はさらに改善を予測

・サービス業も改善を予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3（実績）	4～6（実績）	7～9（予測）
製造	▲ 24.1	3.7	12.6	6.0	▲ 4.7	▲ 21.8	▲ 21.6	▲ 26.9	▲ 27.7	▲ 24.8	▲ 21.2
卸売	▲ 48.1	▲ 16.1	▲ 3.4	▲ 13.2	▲ 12.2	▲ 17.3	▲ 18.2	▲ 16.3	▲ 2.1	▲ 13.7	▲ 21.6
小売	▲ 47.2	▲ 14.7	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 33.8	▲ 42.9	▲ 38.9	▲ 23.2	▲ 22.9	▲ 11.6	▲ 5.8
運輸	▲ 50.0	▲ 6.9	▲ 7.4	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 29.8	▲ 23.7	▲ 11.9	▲ 16.4	▲ 15.5	▲ 22.4
サービス	▲ 54.7	▲ 10.3	▲ 15.1	1.4	▲ 19.2	▲ 4.4	▲ 19.1	▲ 7.9	2.6	▲ 6.3	0.0
建設	▲ 30.0	▲ 27.5	▲ 19.2	▲ 10.8	▲ 22.2	▲ 17.3	▲ 18.9	▲ 22.9	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 18.2

	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
製造	▲33.0	▲24.8
卸売	▲23.4	▲13.7
小売	▲30.0	▲11.6
運輸	▲14.5	▲15.5
サービス	0.0	▲6.3
建設	▲31.4	▲13.6

― 規 模 別 ―

業況判断DI

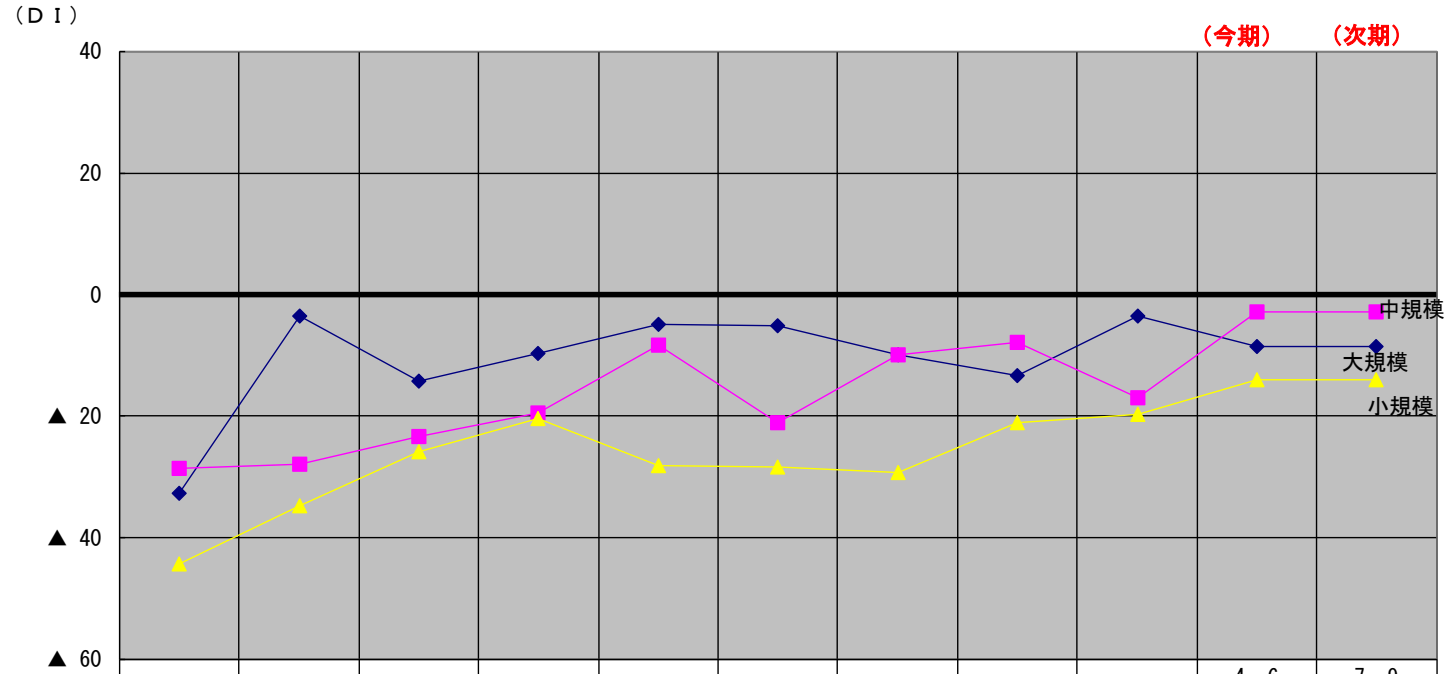
＜今期実績＞（4－6 月期）

・大規模企業は悪化、中規模企業と小規模企業は改善

・特に中規模企業は 14.2 ポイント改善

＜次期予測＞（7－9 月期）

・すべての規模で横ばいを予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3	4～6（実績）	7～9（予測）
大規模	▲ 32.7	▲ 3.5	▲ 14.3	▲ 9.7	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 10.0	▲ 13.3	▲ 3.6	▲ 8.5	▲ 8.5
中規模	▲ 28.6	▲ 28.0	▲ 23.4	▲ 19.5	▲ 8.3	▲ 21.0	▲ 10.0	▲ 7.8	▲ 17.1	▲ 2.9	▲ 2.9
小規模	▲ 44.4	▲ 34.8	▲ 25.8	▲ 20.4	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 29.3	▲ 21.1	▲ 19.7	▲ 14.1	▲ 14.1

	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
大規模	▲10.9	▲8.5
中規模	▲12.9	▲2.9
小規模	▲16.5	▲14.1

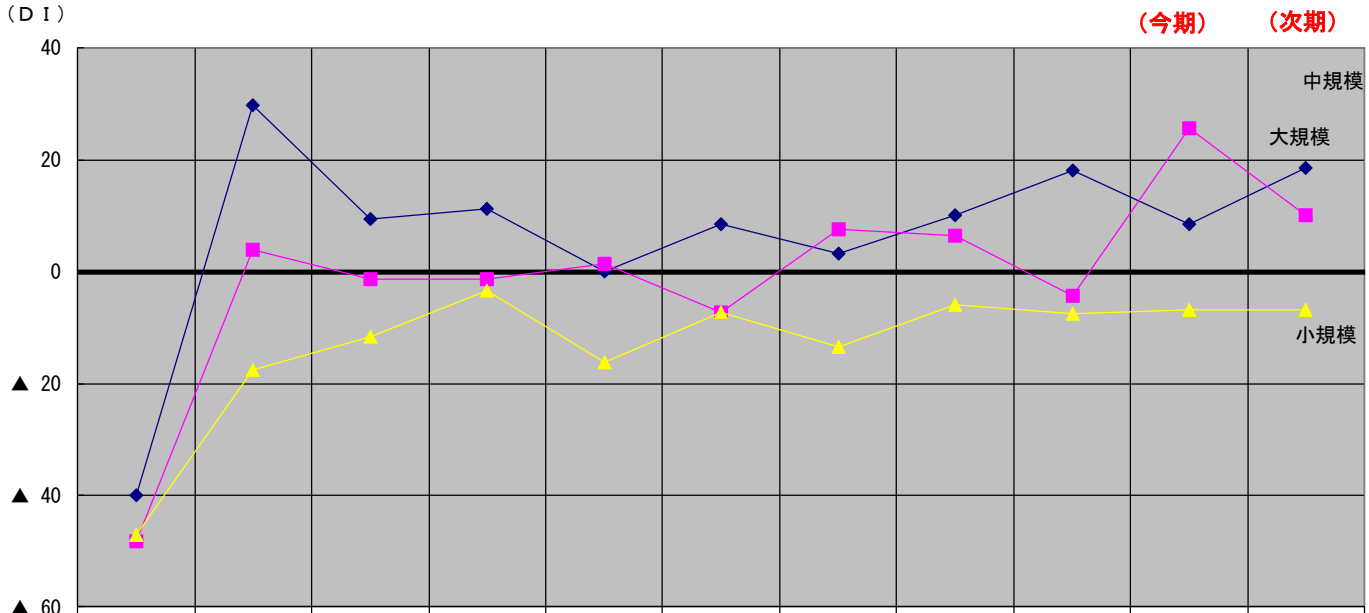
売上高DI

＜今期実績＞（4－6 月期）

・大規模企業は悪化、中規模企業は改善、小規模企業は横ばい

＜次期予測＞（7－9 月期）

・大規模企業は改善、中規模企業は悪化、小規模企業は横ばいを予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3	4～6（実績）	7～9（予測）
大規模	▲ 40.0	29.8	9.5	11.3	0.0	8.6	3.3	10.0	18.2	8.5	18.6
中規模	▲ 48.2	4.0	▲ 1.3	▲ 1.3	1.4	▲ 7.4	7.5	6.5	▲ 4.3	25.7	10.0
小規模	▲ 47.2	▲ 17.5	▲ 11.7	▲ 3.4	▲ 16.2	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 5.9	▲ 7.5	▲ 6.8	▲ 6.8

	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
大規模	9.1	8.5
中規模	1.4	25.7
小規模	▲5.5	▲6.8

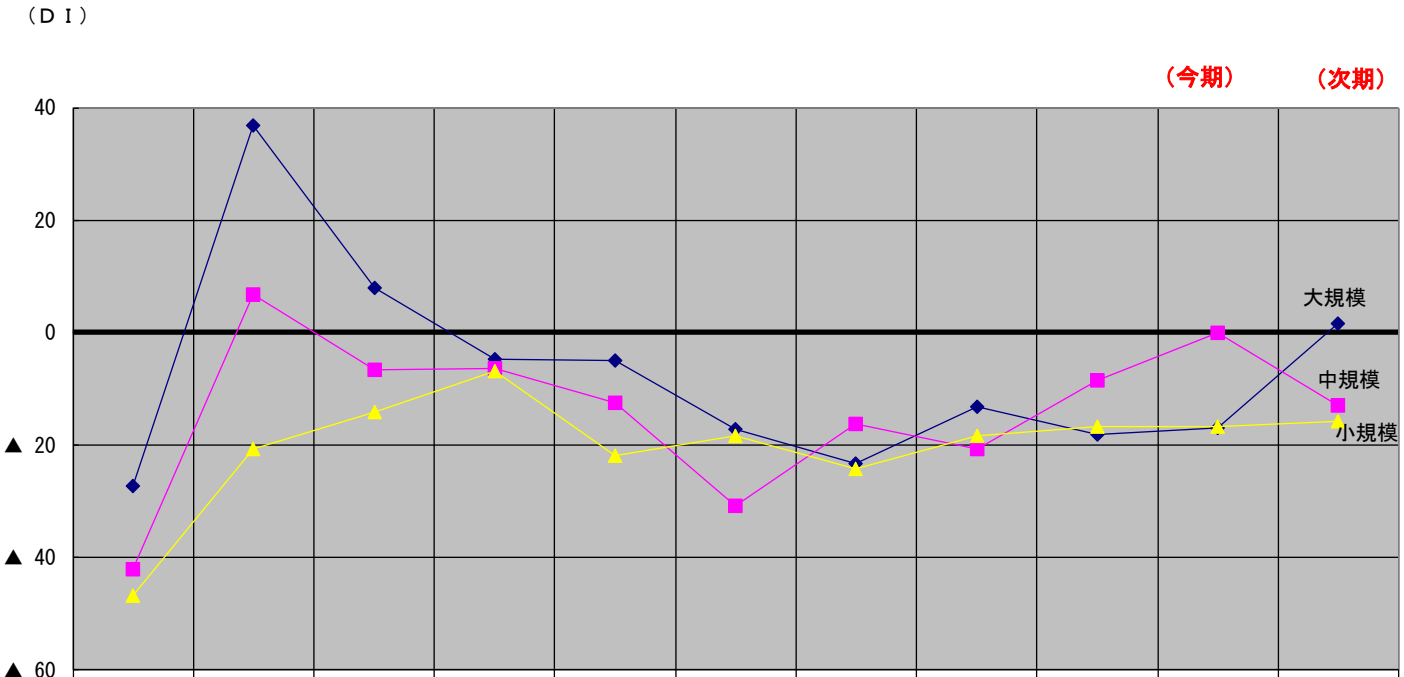
経常利益DI

＜今期実績＞（4－6 月期）

・大規模企業と中規模企業は改善、小規模企業は横ばい

＜次期予測＞（7－9 月期）

・大規模企業は改善、中規模企業は悪化、小規模企業は横ばいを予測



	R3.1～3	4～6	7～9	10～12	R4.1～3	4～6	7～9	10～12	R5.1～3	4～6（実績）	7～9（予測）
大規模	▲ 27.3	36.8	7.9	▲ 4.8	▲ 5.0	▲ 17.2	▲ 23.3	▲ 13.3	▲ 18.2	▲ 16.9	1.7
中規模	▲ 42.0	6.7	▲ 6.5	▲ 6.4	▲ 12.5	▲ 30.9	▲ 16.3	▲ 20.8	▲ 8.6	0.0	▲ 12.9
小規模	▲ 46.8	▲ 20.6	▲ 14.1	▲ 6.9	▲ 21.9	▲ 18.4	▲ 24.2	▲ 18.3	▲ 16.8	▲ 16.6	▲ 15.8

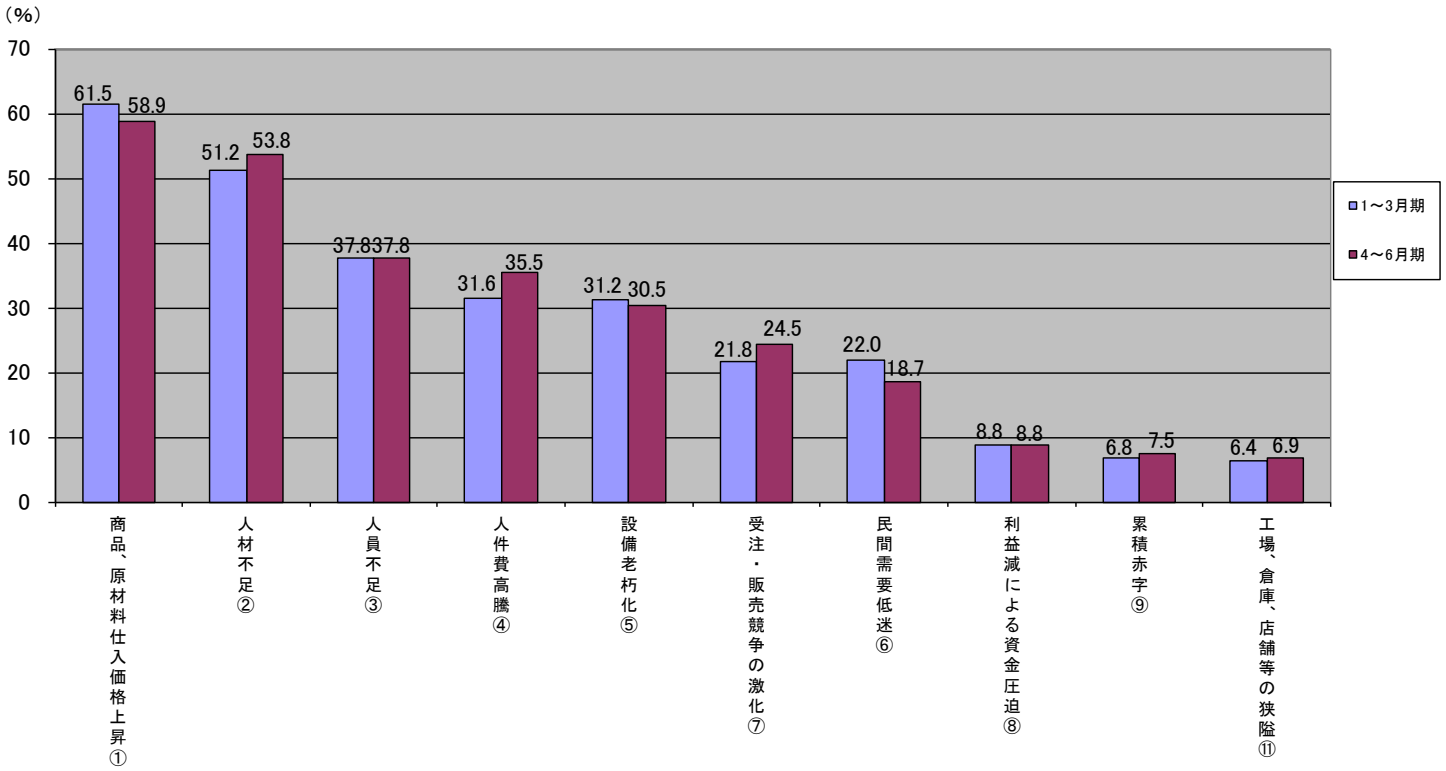
	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
大規模	▲23.6	▲16.9
中規模	▲24.3	0.0
小規模	▲20.0	▲16.6

その他項目 DI の動向

	R3年	R4年				R5年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6（実績）	7~9（予測）
①販売価格・受注単価（「増加」-「減少」）	7.5	6.7	13.5	15.9	22.7	26.3	27.6	26.6
②資金繰り（「容易」-「困難」）	6.3	5.2	7.8	5.6	5.6	8.4	8.6	5.4
③設備投資（「増加」-「減少」）	▲3.6	▲13.1	▲0.6	▲2.0	▲2.1	▲0.2	0.2	▲0.6
④雇　用（「過剰」-「不足」）	▲35.7	▲37.8	▲36.3	▲39.4	▲41.2	▲41.9	▲43.7	▲44.0

① 「販売価格・受注単価」‥‥‥前期から 1.3 ポイント上昇。次期はやや減少を予測
② 「資金繰り」‥‥‥‥前期から横ばい、次期は 3.2 ポイント悪化を予測
③ 「設備投資」‥‥‥‥前期から横ばい、次期も横ばいを予測
④ 「雇用」‥‥‥‥前期から 1.8 ポイント悪化、次期は横ばいを予測

経営上の問題点上位１０項目（複数回答）



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

企業の声

■新卒にこだわらず、通年採用（中途採用）を行っているが応募が少ない

【製造業（窯業・土石）・中規模】

■原油価格や原材料価格の高騰によるコスト増加分を一部価格に転嫁できているが、経営的には厳しい状況が続いている

【製造業（建材・木・紙製品）・小規模】

■段階的にコスト上昇分の価格転嫁できており、安価で受注していた案件を断れるようになった

【製造業（金属製品）・小規模】

■新規採用が困難な状況が続いており、初任給を上げたが根本的な解決にはつながっていない

【卸売業（金属製品・機械機具）・小規模】

■光熱給水コストの上昇が経常利益を圧迫。人件費はやや増加

【小売業（ﾃﾞﾊﾟｰﾄ・ｽｰﾊﾟｰ）・大規模】

■人員不足で受注できない物流企業が増加しており、発注側も単価アップを受け入れてくれる企業が増加している

【運輸業（貨物運送）・中規模】

■新型コロナウイルスの影響も落ち着き、売上・経常利益ともに増加している。人材不足のため求人を出しているが応募が少ない

【運輸業（旅客運送）・小規模】

■インバウンドの増加には期待しており、キャッシュレス決済をやめる訳にはいかないが、手数料の負担を重く感じている

【サービス業（飲食業）・小規模】

■電気代の高騰や備品の仕入価格上昇、配送料の追加などコスト増の影響が大きいが、価格転嫁はできている

【サービス業（その他のサービス業）・小規模】

■受注案件は増加しているが、資材価格やエネルギー関連の費用は上がり続けることを前提に対策しなければならないと考えている

【建設業（総合建設）・小規模】

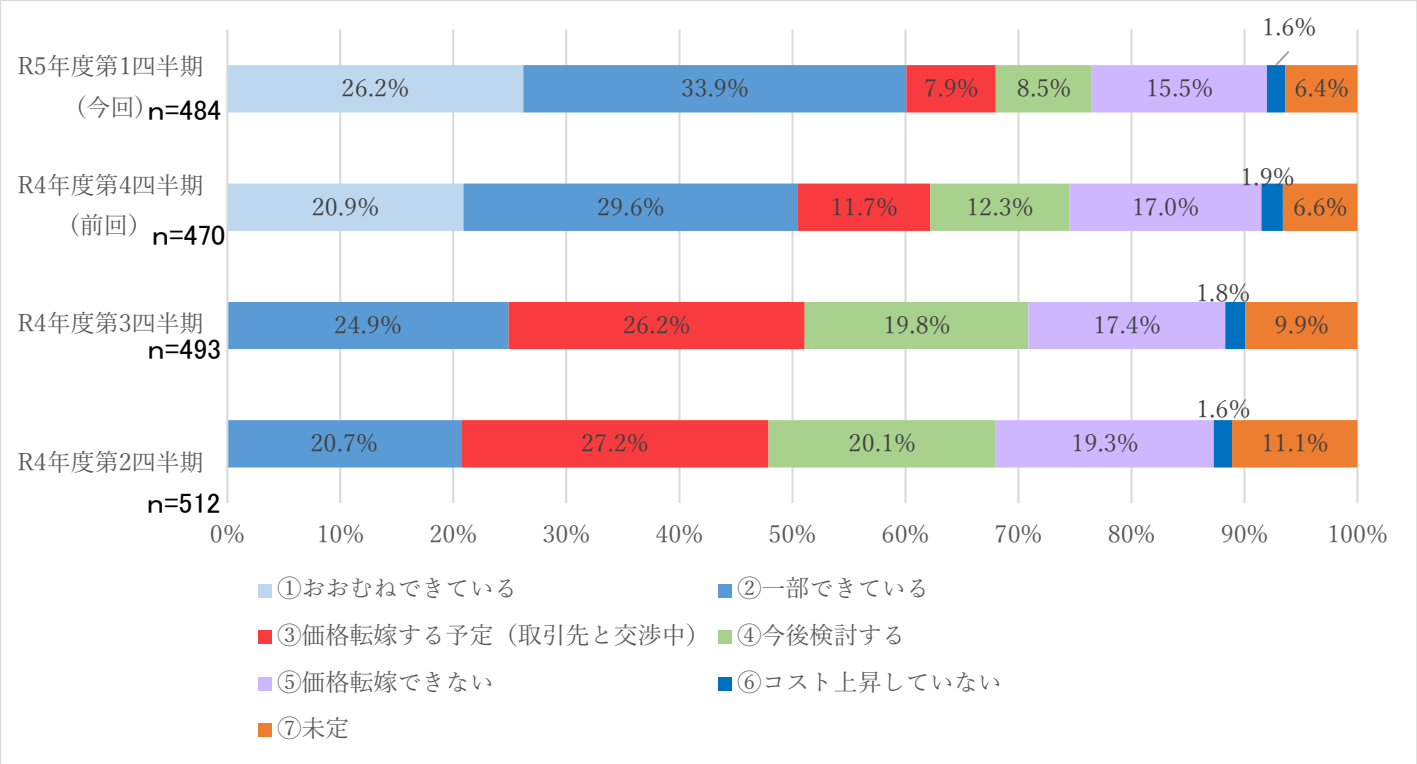
■中小企業としては賃上げを行わないと人員確保が困難な状況であるが、原資確保が悩ましい

【建設業（総合建設）・小規模】

付帯調査

価格転嫁と採用状況について

(1)原油価格や原材料価格の高騰などによるコスト増加分を価格転嫁できていますか。



※R4 年度第 2･3 四半期は①と②をまとめて「すでに価格転嫁している」という選択肢として質問

(2)令和 4 年度の採用(令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月入社)について(※複数回答可)

①正社員を新卒採用	②正社員を中途採用	③非正規社員を採用	④採用できなかった	⑤募集していない
28.5%	44.0%	27.9%	11.8%	20.0%

(3)採用活動において感じる課題について(※複数回答可)

①応募が少ない	②採用競合の激化	③採用コストの増加	④採用手段の多様化	⑤採用活動の長期化
62.4%	26.9%	26.2%	19.4%	12.2%

【その他の意見】

〇若年層の応募がない

〇ハローワークに登録しても反応がない

〇以前は採用できていた地元高校生が大手企業に採用されるケースが多い

〇地場建設業は待遇面で劣るため、現在のような売り手市場では採用は厳しい

〇採用手段の多様化への対応は必要だと感じているが、WEB 更新など常時対応する時間がない

〇土日出勤の業種のため人気がない　　など